

科名 血液内科

対象疾患名 末梢性T細胞性リンパ腫

プロトコール名 A-CHP

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	...	21
1	点滴注	メイン	生理食塩液	500mL	ルートキープ 残破薬可	↓						
2	点滴注	側管	グラニセロンバッグ プレドニゾン注	1mg 10~100mg	30分かけて	↓						
3	点滴注	側管	ドキシルピシン注 生理食塩液	50mg/m ² 100mL	30分かけて	↓						
4	点滴注	側管	エンドキサン注 生理食塩液	750mg/m ² 500mL	原則3時間かけて	↓						
5	点滴注	側管	アドセトリス 注射用水 生食	1.8mg/kg 1vに付10.5mL 50mL,100mL,250mL	30分かけて 前後生食でフラッシュ 投与30分前に前投薬内服	↓						
6	点滴注	側管	プレドニゾン注 5%ブドウ糖液	10~100mg 50mL	15分かけて		↓	↓	↓	↓		
7		経口	プレドニゾン	10~100mg		↓	↓	↓	↓	↓		

★1クール=21日

~MEMO~

最大8コース

<アドセトリス>

禁忌:プレオマイシンを投与中の患者

Gr2の末梢神経障害発現の場合は休業し、再開時は1.2mg/kgに減量すること。

1Vあたり10.5mLの注射用水で溶かす。

注射用水で希釈後、必要量を抜き取り、最終濃度が0.4-1.2mg/mLになるように希釈すること。

調製後の溶液は30分以上かけて投与する。急速投与は行わないこと。

投与30分前に、前処置としてアセトアミノフェン、ホララミンを内服し、インフュージョンリアクションに注意する。

初回は入院での実施が望ましい。